

問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

監理課専門官 成田 誉孝

電話 022-363-0111（内線 2511）



平成 26 年 9 月 25 日

第二管区海上保安本部

海図新刊と改版について

管内の日本海側の港湾で初の英語版海図として海図「秋田船川港秋田」を発行しました。

「石巻湾」の海図を震災後初めて改版しました。

どちらの海図も 9 月 12 日に発行しました。

1. 英語版海図「AKITA-FUNAGAWA KO AKITA（秋田船川港秋田、海図番号 JP148）」

海上保安庁では、船舶の安全な航海に必要な情報を掲載した海図を発行しています。近年、日本近海においても外国人船員が乗船している船舶が増加していることから、全てを英語で表記した海図を平成 16 年から英国海洋情報部と共同刊行しています。海上保安庁ではこれまで 134 図（うち、二管管内は 12 図目。別添図参照）の英語版海図を刊行しており、全世界に広がる英国の販売網にて外国の船舶が安全性の高い日本の最新海図を容易に入手することを可能にしています。管内の日本海側の港としては初めてとなるこの英語版海図の発行により秋田港に入港する外国船の航行安全に大いに寄与することが期待されます。

2. 日本語版海図「石巻湾（W79）」及び英語版海図「ISHINOMAKI WAN（JP79）」

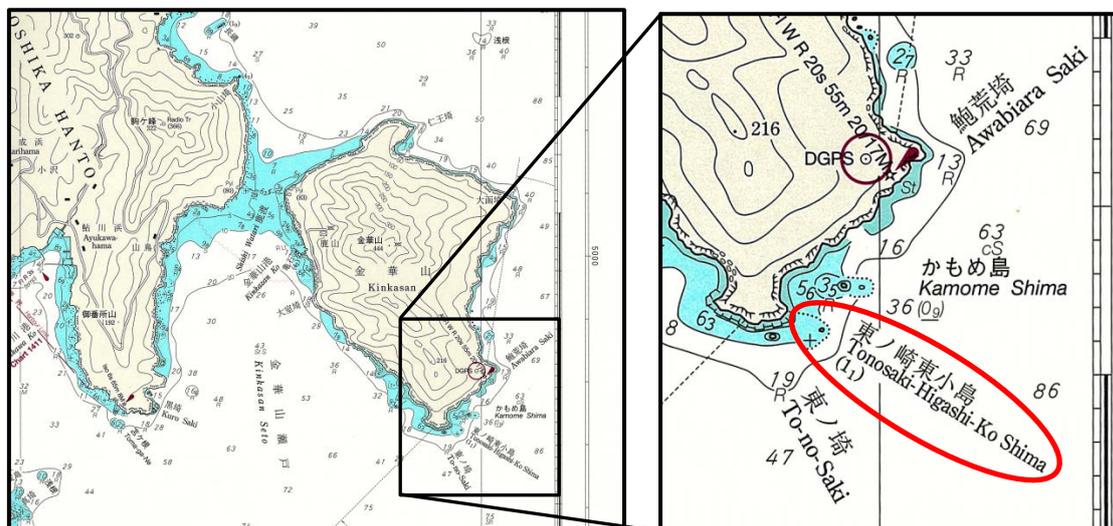
今回の「石巻湾」の海図は、これまでに改版した「仙台塩釜港塩釜」、「仙台塩釜港仙台」及び「石巻港」の成果に、その周辺部の測量成果を加えて改版しました。

震災後、これまで港泊図*1の改版を行ってきました。これらの港湾への進入に使用する海図は二管区管内太平洋側に 5 図あり、これらのうち、改版となった海図は震災後「石巻湾」が初めてです*2。今後も測量実施、資料の整理を進めて、順次海図の改版を行います。

また、総合海洋政策本部は 8 月に「領海の外縁を根拠付ける離島の地図及び海図に記載する名称の決定について」を発表しました*3。今回の海図にはこのう

ちの1ヶ所、「東ノ崎東小島（とうのさきひがしこじま）」を新たに記載しました。その他に同様の離島が二管区管内には9ヶ所有り、今後も改版にあわせて順次記載していきます。

海図画像（W79より一部分拡大）



*1注：航海用海図の分類について

航海用海図の分類は用途に応じ、縮尺によって以下のように分類されています。

港泊図とは1/5万の縮尺より大縮尺で、港湾・泊地などに出入り又は停泊するとき使用されるもので、港湾の地形、諸施設、海底状況が詳細に記載されています。

海岸図とは1/5万の縮尺より小縮尺で、沿岸を航行するとき使用されるもので、沿岸の水深・地形・目標などが詳しく描かれています。「石巻湾」の海図はこれにあたります。

分類	港泊図	海岸図	航海図	航洋図	総図
縮尺	～1/5万	1/30万	1/100万	1/400万～	

*2注：港湾の進入に使用する海図で二管区では震災後初（別添図参照）

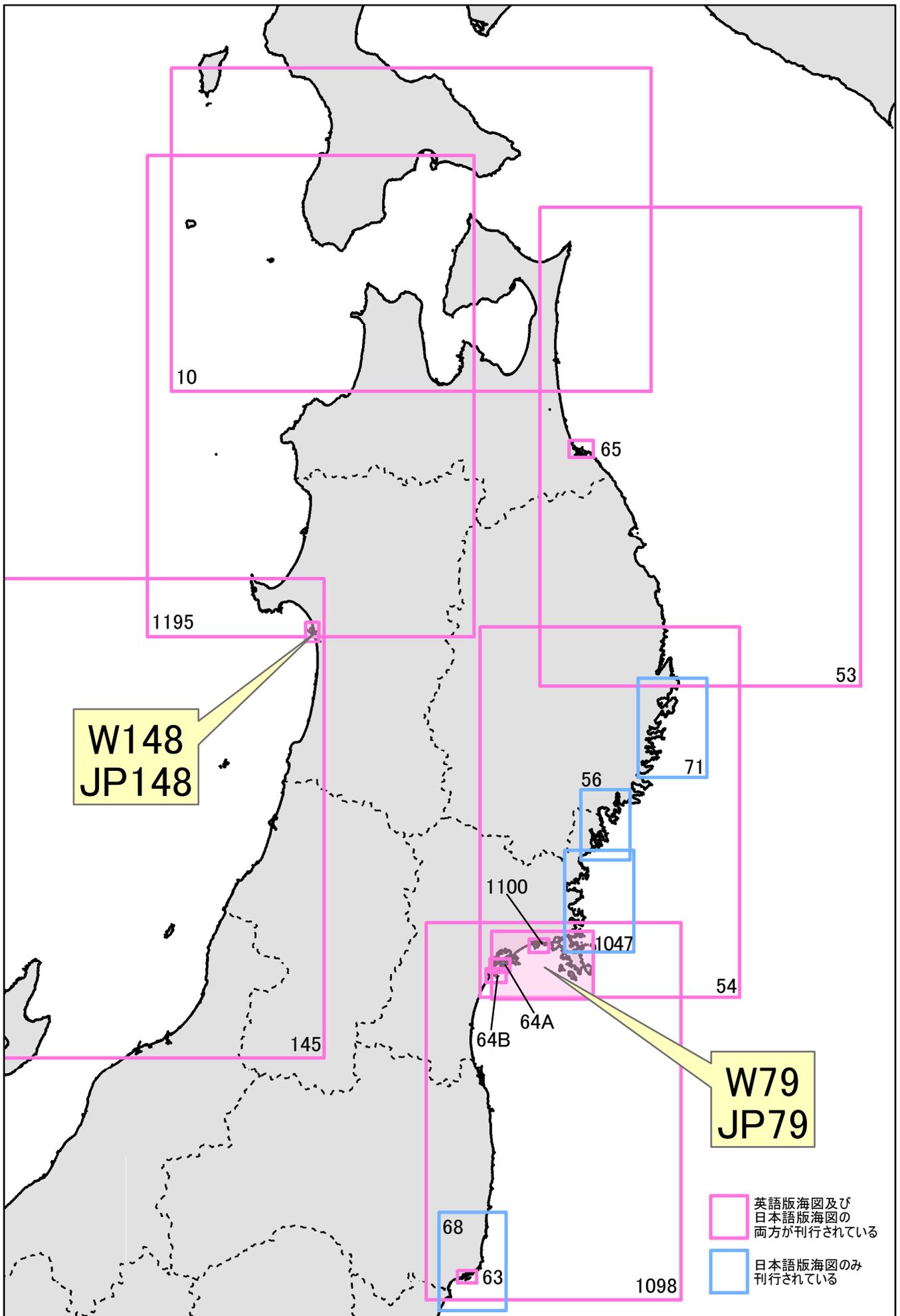
震災後、これまでは港内の岸壁、ふ頭周辺から航路の情報を優先して海図改版を行い、次に海図区域全体を測量しての改版を現在も行っています。港湾に記載した海図を内包している海図は港湾に進入する際に利用されます。そのような海図としては震災後初の改版となります。

*3注：詳細は総合海洋政策本部のウェブサイトを参照して下さい。

URL <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/>

海図刊行区域図(今回記事関連分のみ)

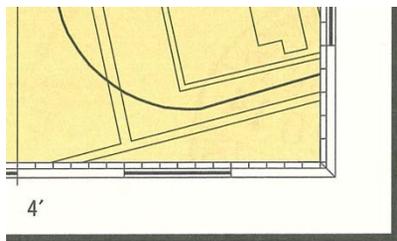
別添図



注: 二管区内で刊行されている英語版海図及び港に接近する際に利用する海図の区域のみ記載

英語版海図と日本語版海図の主な相違点

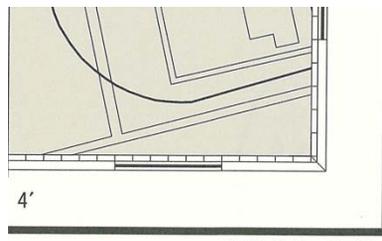
1 海図番号は、英語版海図では頭に「JP」が付き、日本語版海図では「W」が付きます



JP148

(640.2 x 959.2 mm)

(英語版)

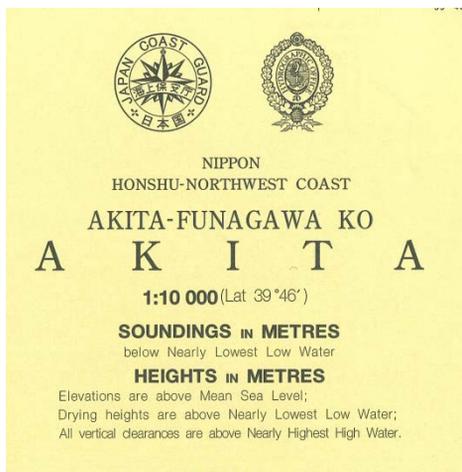


W148

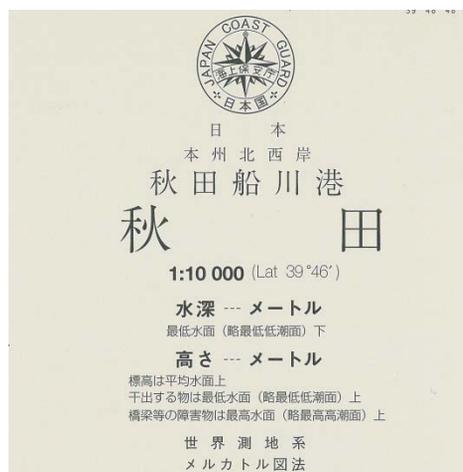
(640.2 x 959.2 mm)

(日本語版)

2 英語版海図は英国海洋情報部と共同で発行しているため、両方の紋章を記載

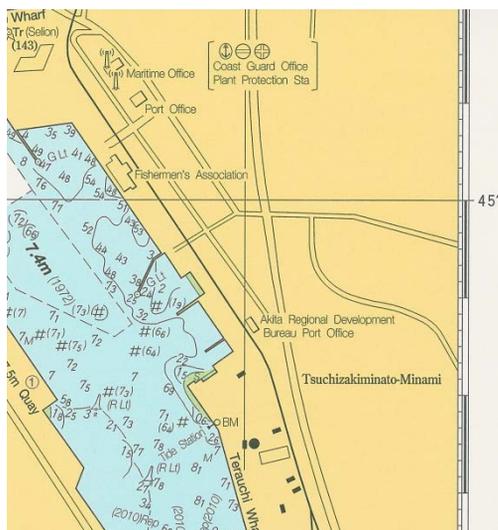


(英語版)

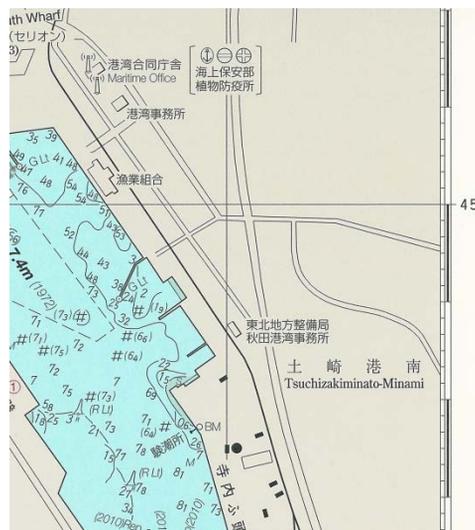


(日本語版)

3 英語版海図は英語・ローマ字で記載、陸色は黄褐色



(英語版)



(日本語版)